



## 人は城、人は石垣、人は堀。 情けは味方、仇は敵なり。(武田信玄)

北口本宮富士浅間神社 (山梨県富士吉田市) photo by O. Kadota

今年のNHK大河ドラマは「風林火山」。上の言葉はそのドラマの主演である山本勘助が軍師として仕えた武田信玄の残したものとされています。近隣諸国との絶え間ない戦（いくさ）の傍ら、自国領内にあっても親子・兄弟・親族間での骨肉の争いや下剋上が蔓延する戦国の世にあって、「自国の城をどれだけ堅固にしようとも、人の心が離れてしまったら世を治めることはできない、情けは人をつなぎとめ必ず国を栄えさせるが、仇を増やせばいずれ国は滅ぼされる」ということを意味するものと思います。信玄の父信虎は戦に次ぐ戦により、外に目を向けさせることによって国内をまとめ、甲斐国を統一し、その国主としての地位を得たと言われています。信玄はそれを良しとせず、父を他国へ追放し家督を継ぎ、内政にも目を向け（有名なところでは“信玄堤”によってそれまで氾濫が絶えなかった河川の流れを変え、新田開発などに力を注いだという話もあります。）、また、後に武田二十四将（山本勘助もその1人）と称されるような優秀な家臣とともに戦国最強とも謳われた軍隊で諸国を平定しました。

戦の天才といわれた上杉謙信とは川中島では互角の戦いを続け、かの織田信長にはその圧倒的な強さから戦を避けられ、後に天下統一を果たした徳川家康には三方ヶ原の戦いで屈辱的な大敗をさせた武田信玄。この信玄という戦国武将1人だけの力量がクローズアップされがちですが、後世にまでその名を残すまでに至った背景には、その優秀な家臣たちの心、領民の心を掌握していたことがあったはずです。

現代社会において、“会社”という組織は法律によって、“人間”とはまるで別の存在のように扱われています。会社には人間で言う戸籍のような登記事項証明書があり、本店所在地には事務所があり、その他会社が保有するいろいろな設備があります。でも分かりきったことですが、究極的には“会社”は“人間の集合体”です。“人間”が“人間”のために会社を動かしています。社員1人1人がその能力を最大限に発揮していくことができる経営や職場環境づくりに弊事務所も少しでもお役に立てたらと思っています。

司法書士・行政書士 門田 修  
社会保険労務士 門田 陽子



# 特集：会社法施行実務

## 定款の変更④ 発行可能株式総数

改正前商法では「会社が発行する株式の総数」として定款にも登記事項証明書にも記載されていましたが、会社法施行によりその文言が「発行可能株式総数」と変更されました。会社法施行時に存在していた会社の皆様は上記のとおり登記事項証明書上で文言が変わっていたことにお気づきでしたでしょうか？

通称「授権枠」（「取締役会に対し、株主総会の決議を経ずに新株式を発行することができる権限をあらかじめ付与しておく」という意味）とも言われるこの条項。名前が変わったからといってとくにその定義が変わってはいりません。従来どおり、会社はこの「発行可能株式総数」を超えて株式を発行することはできないのです。

変わったことといえば、原始定款（設立時に一番初めに作る定款）の記載事項でなくなったということくらいでしょうか。ただし、その原始定款に定めなかった場合であっても会社の成立までの間に発起人の全員の同意又は創立総会の決議によって定款を変更して、これを定めなくてはなりません。これは定款の作成から会社の成立までに相当の期間がある場合（定款を作成してから株主を募集するようなケースもありますので・・・）において、資本に関する部分を決定するのはできるかぎり成立に近い時期にしたほうが株式引受人の利便に資すると考えてのことと思われる。定款作成時に〇〇株を発行し、資本金〇〇〇万円で会社を設立しようと考えても、いざ引受人を募集してみたら、会社の成立までに全くそこまで達しなかったり、逆に応募数が大幅に超えてしまったりするようなケースもあると考えられますからね。

今回は「株式の譲渡制限規定」についてです。

## Topics ～日々流れる情報をスポットでお知らせ！

### 【雇用】

- 2006年の現金給与総額は0.2%増加にとどまる (1/31)
- 大企業の新卒者採用数が増加 日本経団連調査 (2/3)
- 紹介予定派遣制度による採用者数が大幅増 (2/4)
- 派遣社員の「事前面接」解禁を検討 (1/30)
- 民間からの国家公務員受け入れが5年で2倍以上 (2/5)

### 【労働】

- 在宅勤務システム導入企業に税制優遇措置 (2/3)

### 【年金】

- 離婚時の年金額通知サービス:3月で15,000件 (1/29)
- パートへの厚生年金適用拡大 要件を限定か (1/28)
- 2007年度の年金給付額を据え置き (1/28)

### 編集後記：

『写真、なくなっちゃったの?!』  
 ニュースをお送りしている皆さんに1月号をお届け後、お目にかかるたびに頂いた言葉。ニュースの中で一番楽しみにしていた記事が写真だったということに気づきました。(笑)  
 ……というわけで、(たった1ヶ月で)元のレイアウトに戻りました！毎月の写真と言葉にこれからもメッセージをこめていきます〜リニューアル第1弾はなんとと言っても今年の大河ドラマも好評、風林火山から学びました。現代の社会にとっても大切な教えだなあ、と思います。写真の北口本宮富士浅間神社から富士山信仰の道として親しまれてきた吉田口登山道が山頂まで続いています。東宮本殿は北条義時が創建した1561年に武田信玄が川中島の勝利を祈願して再建されたと伝えられています。うっそうと茂る樹齢数百年の杉木立の中に格式と風格を感じますね。

## pick up! News

厚年・国年の「年金扶養比率」が3人を下回る。

2004年度の年金扶養比率（高齢者1人の公的年金を何人の現役世代で支えているかを示すもの）が、厚生年金と国民年金とともに3人を下回ったことが、厚生労働省が発表した公的年金財政状況報告でわかりました。3人を下回ったのは両年金とも初めてのことでです。

ちなみに、厚生年金は2.91人（1995年度は4.98人）、国民年金は2.96人（1995年度は4.15人）でした。少子化は加速の一途、年金保険料を納める世代の減少は想像以上のスピードで進んでいます。

## Precious Women 東北日和 ご紹介いただきました。

女性のためのコミュニティサイト『東北日和』は、“東北に生きる、働く、暮らす、たくさんの女性たちの視点と言葉を通して” あたたく魅力ある東北の「美しさ」「楽しさ」「おいしさ」をいっぱい発信することを目的に運営されています。

この中の『東北で働く』のコーナーで社会保険労務士の門田陽子が紹介されました。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.tohokubiyori.com/> ⇨東北で働く

The screenshot shows the website interface with a main article titled 'フリーターから社会保険労務士へ 人材を人材にかえる企業のサポーター' (From Freelancer to Social Insurance Laborer: A company's support for turning talent into talent). The author is identified as 社会保険労務士 門田陽子さん (Social Insurance Laborer Ms. Yoko Kadota). There is a photo of Ms. Kadota and a small video player. A speech bubble from the article says: '普段はあまり過去のことは語らないワタクシですが(笑)、今回は取材チームの皆さんとお話が楽しくて、少々勢いあまってしまいました。どうぞお楽しみください。' (I don't usually talk about the past, but this time I had fun talking to the interview team, so I got a bit carried away. Please enjoy it.)

## Kadota office.com 2007. 2

#発行：2007年2月10日 #編集・構成：Kadota-Office  
 門田修司法書士行政書士事務所/門田陽子社会保険労務士事務所  
 ADDRESS: 〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-11 伊藤ビル1F  
 ☎ TEL:022-271-6751 ㊦ FAX: 022-271-6758  
 @ URL : <http://www.kadota-office.com/>  
 ✉ mail : [info@kadota-office.com](mailto:info@kadota-office.com)  
 📅 修日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-osamu/>  
 📅 陽子日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-yoko/>